

感想コメント 4C | 番 氏名 _____

※提出：6 月 23 日 (火) 施工学授業時

今回の見学会は高専卒の生の声を 5 人の方から
聞けたのでとても身に付くものでした。特に日々
勉強が必要という話には刺激を受け、身を引き
締めようという決心をさせるほどの影響を受けました。
また今回のように生の声が聞ける機会を設けてま
たえるととてもうれしいです。
また、社長のお話を聞いていく中で仕事を日々
の中で人生幸福度を意識しようと考えました。そろ
そろ就職か進学か決定し動かさなければなりません。
悔いのない選択をできるように思います。
このような機会を設けていただきたいことに感謝
しています。ありがとうございました。

以上

平成 27 年度 4C 施工学【前期】 林建設見学会（6月16日火曜日実施）

感想コメント 4C 2 番 氏名 _____

※提出：6月23日（火）施工学授業時

私は、自分の進路についてしっかりと考えたり
調べたことは、ありませんでした。

正直、将来に不安を抱いていました。

しかし、今回の現場見学で林建設さんの
仕事内容、社長のお話、実際の工事現場の
風景などを教えていただいたことで将来について
しっかりと考え始めることができました。

資格を目指し、自分で後生に残るような
建造物を作るのに携わりたいなと思います。

仕事に慣れ、少し時間に余裕が持てるよう
なったら、林社長のように 大きい目標に
チャレンジし続けていきたいです。

以上

感想コメント

4C 3 番 氏名 _____

※提出: 6 月 23 日 (火) 施工学授業時

社長の話かしても面白く、あきらめないことの大切さ、挑戦することのきひしさを知りました。

高専OBの方の話も興味があり若い人も活躍できるというところに希望をもてました。

11期生のOBの方か今も高専で授業をされている先生の授業を受けているところか、驚きでした。

僕は、高専を卒業したら土木系の会社に就職しようと思っています。今回設けていたたいた見学会は、自分の将来について考えるとてもいい機会となりました。今回のお話をふまえて、将来の夢を叶えらるようにかんがりたいです。

以上

感想コメント

4C 4 番

氏名

※提出: 6月23日(火) 施工学授業時

今回の見学会で自分には多くの道が残されていよという
ことを強く感じることができました。

チャレンジすることの大切さを、諦めることの大切さを
改めて感じることで話しました。

山に登るという大きな目標を持っていらしたので
自分も負けないうし自分の中で大きな目標を決め
それに一歩でも近づけるようにこれから勉強や、
部活などに取り組んでいきたいと思えます。

土木系のことに関して多くのことを知ることができました。

土木にもたくさんの分野があり、それに対応する技術を
持った方々が安全な生活、交通などを支えて
いることがわかりました。

自分もその一員になり、人々の生活を支えていけるよう
な仕事をしてみたいです。

その他ドローンの話や、コンクリート壁が割れないうに
お鉄筋など興味を引く話も多くありとても有意義
な時間をすごすことができたのではないかと思います。

以上

平成 27 年度 4C 施工学【前期】

林建設見学会 (6 月 16 日火曜日実施)

感想コメント 4C 6 番 氏名 _____

※提出：6 月 23 日 (火) 施工学授業時

林建設見学会に行ってみて、材社長みたいに信念をもって行動できる
ようになりたいと思いました。
あと、これからの道路をきちんと考えて行動していみたいと思いました。

以上

感想コメント

4C 7 番

氏名

※提出：6月23日(火) 施工学授業時

林建設見学会に行つて、最初に思ったことは、
楽しそうな会社だなということでした。

会社の説明など、もと怖いというか緊張した中で
受けるのだろうと思つていましたが、実際の雰囲気は
とても明るく、リラックスして聞けました。

でも僕が一番ためになつたというか、行つて良かった
と思つたのは、高専OBの方々の話を聞くことが
できたことです。僕自身、就職しようと考へており、
そこで一番の不安要素が、社会に出るという
ことの恐怖心でした。高専の勉強はどれほど役に
立つのか。社会に出て上手くや、ついでいけるのか。
様々な不安でいっぱいですが、高専OBの方々の
話を聞いて、自分がしっかりしていればと
大丈夫という気持ち少しはできました。

そして、林社長の話には本当に驚きました。

何より人として、すごい人だなと思いました。

僕は、自分に甘い所が数多くあるので、

まずは何事にも挑戦してみようと思いました。

本当に見学会に行けて良かったです。

以上

感想コメント

4C 8 番

氏名

※提出：6月23日(火) 施工学授業時

林建設さんの現場見学を終えて、今まで建築にしか興味の無かった自分が、土木の方にも興味が湧いてきました。土木の施行も楽しそうで、そして、やりがいのある仕事だと思います。仕事をすると発生する金額、規模、すべてが予想をはるかに超えている、とても驚きました。道路、ビル、ダム、公共施設など、社会の基盤となっている土木工事の技術の高さなど、他の分野にはほじれる仕事だと思います。しかし、少人数も許されないということも入事なので、ただ楽しそうやおもしろそうではなく、それと向きにあたって、自分の技術力も高めていかないとなと深く感じました。林建設の社長さんの話がとても驚きました。年齢が高いのに、キリマンジャロに登ろうとすき意気込み、その夢を成しとげる為の訓練など、すばかいです。いろいろなことにチャレンジしてきた為に、会社も大きく発展したのかなと思いました。自分はまだ16歳なので、これから自分の夢を追いかけ、日本を支える技術者を目指していきたいと思います。そして、様々なことにチャレンジしていきたいです。

以上

感想コメント

4C 9 番

氏名

※提出：6月23日(火) 施工学授業時

今回の見学会で一番印象的だったのは、社長の話です。序盤の「昨年キリマンジャロに到達しました」の一言で「興味をグッと引き寄せられ、建設会社の見学会という事も忘れ、ドキュメンタリー番組を見ているかのように聞き入っていました。キリマンジャロの壮大な写真とともに、その時の社長の心情や状況を話して下さい、初めて知ることの連続で聞いていてとてもワクワクしました。それと同時に、到達することか、と「それだけ厳しく、過酷な事であるのか、ほんの一部だと思いますが知ることができました。子供の頃、憧れを抱いていたキリマンジャロに挑戦した社長さんは、最後に「どんな事があっても絶対にあきらめない。という気持ちを出して培った。大切なのは、情熱とその情熱を支える体力だ。」とおっしゃいました。思いを実行する、まさに有言実行を成し遂げた方の言葉です。深く心に響きました。社長の山への情熱が仕事に対する原動力にもなっているのだらうと感じました。

今回の見学会で会社について様々な情報を得たこと、そして何より社長の人生観を聞いたことで、自分の未来を考え、そして今を見つめ直す良い機会となりました。施工学で学んだ語句が現場でも頻繁に耳にするのだとも感じました。有意義な見学会に参加でき良かったです。

以上

感想コメント

4C 10 番

氏名

※提出: 6月23日(火) 施工学授業時

今回は 林建設さんの 事業説明や工事の概要など大変多くの
ことを学ばせて頂きました。

技術的根拠では、モルタルコンクリート吹付のクラックの発生
と抑えるためのフレックの技術は大変素晴らしいと感じました。
また、企業間技術力としても大事で他の企業に負けない様々の技術を
生み出していく必要性を知りました。

管理部や 建築分野、土木分野などの部門はありましたが、
どの部署もとても魅力的で、会社にはなくてはならない大抵の
存在であると思いました。多くの人の支えがあり会社が成り立ち運営
していると感じていました。

一番印象に残ったものは 林社長の話でした。林社長
は キリマニシロ、登頂に成った林と知りとても驚かされた。
私は登山をしたことはありません。しかし、今回の講演で
一度登山をしてみたいと思いました。また 林社長の登山行為に
あたっての事前準備の大切さや 過酷で 林社長の登山に対する
情熱を見ました。

今の自分は 20代で 信念の欠片もありませんが、いつか
林社長のように 夢を持ち 志して 叫ぶ男になりたいと思います。

以上

感想コメント

4C 11 番 氏名 _____

※提出: 6月23日(火) 施工学授業時

今回この林建設見学会をうけて、自分は、林建設のおんな建設会社
もあだなと思えた。自分の中では、大勢に出る。就職相のかというので
迷っていたころ、たここのことが知れて非常に...機会になた。
林建設は、様々な分野で活躍されていて、自分の行きたい
分野もあり、勉強になた。

たここの話を聞いたが、中でも社長さんの話は、たこ
成銘を受けた。自分の夢だったクリスマスツリー登頂を
命がかけて、成し遂げたことはすごいと感じた。日々の努力
の積み重ねがたこ大事なんだなと感じた。

今回このおんな見学会を受けて、お金がかせこことは本当に
大変なんだなと感じた。自分も、いい道路に道めように、
今のうちからしかいい準備をしないなと思った。今回この
おんな機会を作っていたたこありがとうございました。

以上

4C12

施工レポート

林建設見学の終えて感想意見

自分は今回林建設の見学というのを聞いて、自分は建設という分野に対してのイメージがしっかりとできていなかった。
なので今回の見学というのがとても大事な事だと感じていた。
初め建設というものは公共の建物を建てる固い仕事だと思っていた。
しかし、行ってみて初めに感じたことが、みんな自由に楽しんでいる職場であった。そして高専生、先輩方の話を聞くことができた。パソコン上でのリアルな話をしてもらってとても参加になった。
建設というのは、おしごりをとおよぶ人から市長、県長まで様々な人のつながり。そして、その人と協力しては日本は成り立つというのが、自分は大切だと思った。
今は、中の人への対応もとてもいい、男性用のトイレなどもできたり、とても社員の仕事をしている会社であった。
自分が思っていた建設とは全然違い、非常に活気にあふれており、みんなが目標を持ち、それに向けて力をまきたらない所が感じられた。
最後に社長が登壇した。どうもここまで挑戦する心を忘れないで世界に誇れる技術者を目標にしていこう。

感想コメント

4C 13 番

氏名

※提出：6 月 23 日 (火) 施工学授業時

高専を卒業した方々が話した 経験 や 苦労 したこと、
会社の いい点 など、おもしろく参考 になりました。
自分の知らないことや 新しい発見 などがあり、
今後、進路 に 702 考え方も変わると思っています。
また 仕事 の話以外にも、生き方 に 702 の
指導 や 素敵 の言葉も おかげ になりました。
見学会に参加して よかったです。

以上

感想コメント

4C 14 番

氏名

※提出：6月23日(火) 施工学授業時

今回、林建設工場を訪ねてみて本当によかったと思いましたが、私は、県外の会社で働きたいと思っていました。実際、県内の会社にいくと

職場の雰囲気も温かくて、自分の故郷に貢献するのもいいなあと思いました。

やはり、女性は最初大変そうだなと感じましたが、周りの先輩がいい人であれば、がんばっていきそうと

感じました。県内で就職するのもいいなあと思いました。もちろん、県内で京大就職するのであれば

林建設がいいです！

もっと自分が興味のある会社を調べていろんな人の話を聞き、自分の道を慎重に選んでいきたいです。

以上

感想 4-C-16

今回の林建設社の見学で、自分かどの道に進みたいか、

どのような種類の仕事があるかなどがよく分かりました。

また、社会に出たときの責任、他社や人とのコミュニケーションなどの重要性もとても実感しました。

お忙しい中、見学会を開催していただきありがとうございます。

平成 27 年度 4C 施工学【前期】 林建設見学会 (6 月 16 日火曜日実施)

感想コメント 4C 17 番 氏名 _____

※提出：6 月 23 日 (火) 施工学授業時

、高専卒業からの仕事内容まで知れたので将来の判断材料として
とても参考になった。

社長の話や姿を見てモチベーションの重要性を再確認できた。

以上

感想コメント

4C 18 番 氏名 _____

※提出：6月23日(火)施工学授業時

今回、林建設さんに見学に行かせていただき
113113ととてき ために存りました。

自分が一番 ために なるのは こゝから の 将来に
ついてです。

もろろん 建設業 について 113113 と 1111 話し
がきけてよかったですが、社長さんの登山のお
話 したと こゝから 存に を生きがいに するわ？

存に をした のか？ 存に を学んで のか？

自分 は できるだけ 自分が した こと をした こと

思いました。

以上

感想コメント

4C 19 番

氏名 _____

※提出：6月23日(火)施工学授業時

今までは、林建設を知らなかったのですが、
林建設の業務内容等を分かりやすく
説明していただき、また、社員さんの
体験談等、とてもためになりました。

見学会で一番印象に残っている
ことは、社長の「極限への挑戦」
という言葉です。物事に取り組む
姿勢がすごいなと思いました。

その姿勢を真似できるように、

自分も頑張りたいと思います。

以上

感想コメント

4C 20 番

氏名

※提出：6 月 23 日 (火) 施工学授業時

先日は、ありがとうございます。私は環境の勉強がしたく進学を考えています。しかし、高専入学のきっかけとなった土木の仕事はとても楽しそうで、やってみたいと思いました。私の父も建設業で小さい頃から現場など連れて行ってもらってました。その頃は全く意味も分かりませんでした。今では「しずう」ですが分かるようになり、現場などに行くと楽しくて仕方ありません。そんな中で今回の見学会は、どのようなことをしているのかを詳しく知ることができとても勉強になりました。ただ「工事をするのではなく、地域への配慮や工事を完了するまでにしないことなど、知らないことだらけでした。職員のみなさんがやりがいを感じて仕事をしていて、「林建設のような会社に入社したい」と思いました。最後の社長さんのお話で、「できないだと諦めるのではなく挑戦をし続けることは大切なのだ」と改めて感じました。今の私は「すぐできないと諦めてしまします。でも、10年後の自分を想像して限界を決めず、精一杯さまざまなことに挑戦したい」と思います。

本当にこのような見学会を開いて頂きありがとうございます。

以上

感想コメント

4C 21 番

氏名

※提出：6月23日(火) 施工学授業時

直接：会社に行き、たくさんのごとを
学ぶことができてきました。OBの方の話など
社上では見ることもできないことは「カツ」は、
社長の登山の話なども興味深かったです。
何にでも挑戦することの大切さ、目標を
達成するための準備。

貴重なお話ありがとうございました。

実際の工事内容もパワーポイントで
わかりやすく学びたいと思っています。

「フレン」、トローン、も実際に見ることができ
おもいます。

以上

感想コメント

4C 22 番

氏名

※提出: 6月23日(火) 施工学授業時

僕は林建設見学会に参加し、様々な事を知ること外で、とても貴重な体験をさせてくれたと感じています。

その中でもやはり、授業や実習などの学校で学ぶ学問と、現場では、大きく違うところを強く感じました。

授業では習わないような様々な技術や工夫、そして、現場における熱意、これらはとても素晴らしいものだと感じました。そして、僕自身も将来的に、そういったエンジニアになりたいと思いました。

そのためには、毎日の勉強に励み、日々の努力を怠らず、常に向上心を持つことが必要だと思うので、頑張りたいと思います。それは、林建設のオリコニシの登頂の話と聞いて考えたことです。

僕は登山についてはあまり詳しくないですが、やはり標高5000m近くある山の登頂に成功することは並大抵のことではないと思います。

志を高く持ち、諦めないことが大切なのだと知ることができました。

以上

感想コメント

4C 23 番

氏名

※提出: 6月23日(火) 施工学授業時

林建設の見学会に行くまでは、あまり、その会社のことを知りませんでした。林建設は土木工事、特殊工事、建設工事などさまざまな部門があり、幅広く県内の工事に携わっていることがわかりました。私は、将来建築関係の仕事を希望していましたが、今回の見学会で、今まで知らなかった土木関係、水質関係のことを知り、すごく興味深く、こんな仕事をするのも素敵だと感じました。林建設は民間の住宅だけでなく、公共施設も建設していて、大きな企業である我知道了。又、川内の擁壁作り直しが完成した様子をヘリコプターのようなものにかメラをつけて上空から撮影するシステムはとてもおもしろかったです。

手軽で簡単に費用もあまりかからず、とても便利だと思いました。

林建設の社長さんの世界7つの山のうち3つの登頂を挑戦するお話にも打たれました。60歳を過ぎているのに、力強い情熱とそれを支える体力。そんな姿を思うと、私も頑張らなないと、頑張らば、できない、とはないという気持ちになりました。私には、強い情熱もそれを支える体力も不足しています。自分の目標を再確認し、これを達成するために何をすべきか考え、今後に活かしていきたいと思ひます。

以上

感想コメント

4C 24 番

氏名

※提出: 6月23日(火) 施工学授業時

今回の林建設見学会はとても貴重な経験となりました。
林建設さんの説明がとても分かりやすく、会社というものは
どのようなことをやっているのだろうと疑問を抱いていましたが、
今回の見学会のおかげで、会社とはこんなことをやっているのか
ととても興味がありました。
説明の中で、一番印象に残っていることはドローンを使って
現場を上空から視査することです。この最新の技術
のために、もうすでに現場に生かされているところを見て、好奇心の
強い会社なのだと思います。
また最後の林社長によるマイコンロボットの話は、
自分の人生の中でもとても貴重な話になりました。
自分の将来、社長になりたいと思っていました。
やはりどこかおもしろい部分がありました。話を聞いて
おもしろいと感じたこと改めて思いました。
今回は本当に貴重な体験をさせてもらって
ありがとうございました。

以上

鹿児島工業高等専門学校

4 C25

6月16日企業訪問の感想

鹿児島高専4年都市環境デザイン工学科の中村友哉です。

先日は、林建設本社の会社訪問をさせていただき貴重なお時間を頂戴しまして誠にありがとうございました。

貴社の工事实績や会社概要、鹿児島高専の先輩たちの生のお言葉を直接聞くことが出来て、社会人になることへの憧れや身の引き締まりを感じました。また、このような機会を設けていただきありがとうございました。

今回の話を伺うことによって特に印象的だったのは代表取締役兼社長の林 隆秀さんのキリマンジャロ登頂の話でした。

私は建築士になりたくて鹿児島高専に入学し、今日まで勉強してきました。

けれども現状では建築業界は厳しいといわれることが非常に多く担任や親からも建築関係に進むことは反対され、将来は土木会社に勤めようかと考えていました。

しかし林社長のキリマンジャロ登頂の話を聞き、林社長の人生観や揺るぎない信念に感銘を受け、以前まで将来や進路について弱気だった私も自分の選んだ道を諦めないで突き進もうと決心することができました。

人生において必要なことは努力、忍耐、チャレンジだとおっしゃっていましたがまさにその通りだと思います。

簡潔な分になりましたが本当にありがとうございました。

私の出身は鴨池新町なのでまた貴社を訪れてみたいと思います。

今後の貴社のご繁栄とご発展を祈念申し上げます。

感想コメント

4C 27 番

氏名

※提出: 6月23日(火) 施工学授業時

私は進学を希望していましたが、今回の見学会で大きく心が動かせられました。工事部、管理部の方々のお話を聞き、仕事内容がどのようなものかというのを知り、自分が今までに思っていたものがほとんどでしたが、一部異なる部分がありました。そのことに関しては大きく驚くこともなかった。しかし、高専OB五名のお話を聞き、大きく心が動かせられた。高専を卒業した者は、実際現場で工事をする立場になるのではなく、現場監督として現場の指揮をとるというふうに言われてきた。今回実際にそうなのだと実感した。さらに、学生の質問で「高専卒業時と進学した後とでは、どちらが就職した後の人生がよい」という質問に対し、「高専卒業時の就職した方が、進学した者には比べその会社での経験が7割つくめる」という答で、私は大きく悩まされた。実際に会社で働いている方に言われると現実味があり、進学という考えはストップがかかりました。

もう私には時間はありません。早く、真剣に進路に関して考えようと思っていました。

今回このような機会をつくらせて下さった梅木先生および林建設株式会社の方々に心より感謝申し上げます。

以上

林建設の見学会の感想

Date

No.

平成27年度 4C施工学[前期]

林建設見学会(6月16日火曜日実施)

4C 28番 氏名

心

※ 提出日: 6月23日(火)

(施工授業時)

今回の見学会は、林建設に行きたくさんの方の話を聞きおもしろかったし、いろいろなことが学べました。

私は特に社長の話がおもしろかったし、いつのまにか聞き入ってしまいました。

社長の話を簡単にまとめると、登山に挑戦し続けていて、念願のエレベスタに登ったという話と、それに至るまでの偉業(リヤお宝等)がどれだけ大変かという話でした。社長は本がきっかけで「エレベスタ」に興味を持ち、

「エレベスタに登る」という夢を叶えました。とてもすごいと思いました。

やりたいことをやるのはすごい(お宝が必要だし、自分の努力も大切だし)、社長はチャレンジし続けたから、あきらめなかったから夢を叶え、また新しい夢を叶えられるんだらうなと思いました。

私も、やりたいことを成しとげられるような人生を送りたいと思います。

以上

感想コメント

4C 29 番

氏名

※提出：6 月 23 日 (火) 施工学授業時

私は林建設に見学に行くまでは就職について

ほとんど何も考えていませんでした。

しかし、実際に働く現場の説明などを聞いて

少しずつでもいいので考えていくべきだと思いました。

林社長のおっしゃった大事なものの情熱と体力、

私にはその情熱が無いなと感じたので、

これから積極的にいろいろな会社の説明会やインターシップなど
受けていこうと思います。

当日は雨も強く、最初は気分も乗り気ではなかったのですが

見学会を終えた時には がんばろうというやる気が少し

出てきたのかなと思います。

今回はこのような機会を設けていただき

ありがとうございました。

以上

感想コメント

4C 30 番

氏名

※提出：6月23日(火) 施工学授業時

今日は林建設の会社説明がすごくできてよかった。
 林建設には5人の高専OBさんが居て、それぞれ自分のことを話してくれました。
 印象に残っているのは、ドローンも飛ばして撮影場所が印象に残りました。
 また、大井橋梁の方面には大変な量の木が伐たれました。

OBの方の話のあと、努力の大切さを教えてくださいました。毎日少しでも努力をする。つまり1.01
 と、毎日何もしないの0.99を365乗すると1.01は少しながら価値が増え自分の力に
 0.99は少しながら減っていく後悔が残る、というお話がありました。

1000時間法則というものがあって、これは毎日何かに3時間学ぶことで3年間継続することで
 ぶつかる別の分野で成功できるというものであります。

3時間という日は決して多くは無いです。継続していくことで林建設も大きくなると思います。
 僕も努力を継続して大志を身に付けたいです。

最後に林社長からのお話がありました。大切なのは、一に「情熱」そしてそれを支える
 「体力」ですと教えてくださいました。リマンゴロに登る私の過程を全く知らなかった
 ことを気づかされたのであります。リマンゴロに登るために毎日3400キロカロリーを食っており、
 1000mの山を200本登り、とても強い努力をしたことに驚きました。山に登る程度だと
 思っていたらこんなに命がけな人がいて認識を改めてました。

以上が私の感想です、学ぶことが出来た。
 この見学会を林から覚悟して生活したいと思っております。

以上です

感想コメント

4C 31 番

氏名

※提出：6月23日(火) 施工学授業時

林建設さんでの業務内容について、実際の現場を近くに感じる
ことができました。

私が一番安心したことは、現場でも女性が働いていること、また、
適切な部署に移動できるということです。

入学した頃より、女性の現場進出が進んでいますが、やはり
不安でありましたが、卒業生の方の話聞いて安心するこ
とことができました。

また私は建築に興味がありますが、建築といっても仕事内容
も様々であると感じました。

社長の様に自分の限界に常に挑戦しているよう
になりたいです。

以上

感想コメント

4C 33 番

氏名

※提出：6月23日(火) 施工学授業時

今回の林建設見学会は私にとっていい経験となりました。特に刺激を受けたのは高専卒の幅広い年齢層の先輩方が第一線で活躍していることでした。2つ3つくらいしか年齢差のない先輩が仕事の中心にいるということがすごいことだと思いました。また、自分も近い将来はこんな風に仕事をしたいなあと思ったりました。

仕事の規模の大きさにも驚きました。土木や建設の事業には大金がかかりますが、それをあたり前のように動かしているところが尊敬しました。自分もそういう風に仕事できるようにがんばりたいと思いました。

以上

感想コメント

4C 34 番

氏名

※提出: 6 月 23 日 (火) 施工学授業時

林建設見学会 感想

〇話を聞いてみてとてもおもしろかったです。林社長の話についてとても興味がわきました。登山するのにもとても準備やお金がかかるのには驚きました。ジャネットが 25 万円するのにはさすがにたまりませんでした。テレビ番組などでよく 6000m 級の山に登る番組などを見てるととても簡単そうに見てましたが、一歩まちがえば死ぬかもしれないととても怖いものということがとてもわかりました。自分も、大きいことにチャレンジする情熱、それを支える体をしっかりつくりたいと思います。

また、会社の話を聞いて、とてもいい会社だなと感じました。自分は進学希望なんですけど林建設に少し行きたくなりました。

まだまだこれからなので大切なことを忘れずがんばりたいと思います。

以上

感想コメント

4C 35 番

氏名

※提出: 6月23日(火) 施工学授業時

今回の、林建設見学会では、技術者として、できる
仕事や高専生の就職後の働きが具体的に
見え良かった。

高専生と一緒にいるのも、建築、土木、特殊土
木と業種はたくさんあり、自分の望む所へ行け
るのなと感じる。女性の方ではあったが、経
理に勤めよう、可能性の広さを感じる。

更に、入って何年か一人の仕事をしていく様
になったという就職後のお話が聞けて、今後
の会社選びの参考になった。

とても有意義な今後を生かせる見学会だった

以上